

学校だより

令和5年10月20日

笑顔あふれる富田中学校

爽やかな秋風が吹く季節になりました。秋という季節は「実りの秋」と言われ、秋が穀物や果実などの収穫が多くなることから、「努力してよい結果を得ること」のたとえとしても使われます。今月26日は合唱コンクールです。「実りの秋」にふさわしく、学級の仲間と励まし合い認め合ってきた姿や悔いのない合唱、思い出に残る感動的な合唱を体育館中に響き渡らせてほしいと思います。

ところで、本校の目標は「自他を認め合い 学び合う生徒の育成」です。子どもたちは授業の中で、タブレット端末を活用した学習活動や話し合い活動などの「協働的な学び」を行っています。学びを深めるための魔法の言葉があるそうです。まずは「なるほど」「そういう考え方もあるね」(共感・納得)、次に「どうしてそう考えたの?」「もっと詳しく教えて」(深掘り)、最後に「つまり、こういうこと?」「~ということなのね」(再考・再構築)のような言葉掛けをしながら話し合うことで、学びを深めることができます。

子どもたちが「実りの秋」を経験し、学びを深め、この先さらに成長していくことを楽しみにしています。

合唱コンクールに向けて

来週10月26日(木)に、合唱コンクールが開催されます。感染症等の流行による制約がある中、生徒は、音楽の授業や学活・総合の時間などを使って工夫を凝らしながら練習に打ち込んでいます。とりわけ3年生は、卒業式を除いて保護者参観のある最後の学校行事に、総務会を中心に写真のようなスローガンを掲げ、「一体感」のある「圧巻」で「感動」的な合唱を届けることで、「感謝」の思いを伝えられるようにしよう('CAN')と精力的に活動しています。当日ご都合が付きましたら、プログラムをご確認の上、生徒の全力の姿に注目していただけたら幸いです。

なお、本日きずなネットで、開催方法の一部変更に関する説明を配信しておりますのでご確認ください。

五感超越

感動感謝圧巻 CAN 一体感

防災講話

9月26日(火)に、東日本大震災に際する陸前高田市への派遣職員の方を講師としてお招きし、被災地から学ぶべき事柄についてご講演いただきました。生徒は、はじめに映像やスライドを見て、総世帯数の99.5%が被災するといった被害の大きさを知りました。次に、助かった方々の避難所での生活や復興に向けた様々な支援・交流の様子から、自然災害を自分事と捉え始めました。最後に、クイズを交えながら具体的な災害への備え(防災マップ、非常時持ち出し袋、実践的な訓練など)について学習し、想像力や危機意識を高めました。

いつ起きるか分からない自然災害に対し、今・自分に



何ができるかを考え、適切な意思決定や行動選択できる人になるために、今後も学びを深めていってほしいと思います。

校外清掃

10月6日(金)の午後に、校外清掃を行いました。生徒会の呼び掛けに約200人の有志が参加し、学校周辺やJR春田駅周辺を清掃しました。テスト勉強の疲れもある中、励まし合いながら笑顔で清掃に取り組む生徒の姿に、大変好感がもてました。

